

議決された主な議案等

※5月臨時会では、市長提出議案3件、6月定例会では、市長提出議案14件、陳情3件の採決を行いました。
※下記以外の議案等への賛否については、議会事務局へお問い合わせください。

○:賛成 - :反対

Table with columns for Party Name (会派名), Member Name (議員名), Main Proposal (主な議案), and Decision Result (議決結果). Rows include various proposals like budget adjustments, contract changes, and ordinance amendments.

※令和4年(2022年)6月8日付で議長は中村聡一郎議員から前川綾子議員に交代。
※令和4年(2022年)6月8日付で「夢みらい鎌倉」の代表者は日向慎吾議員、「鎌倉のヴィジョンを考える会」の代表者は中村聡一郎議員、「公明党鎌倉市議会議員団」の代表者は大石和久議員に変更。

5月臨時会

緊急に議会の議決を必要とする案件が生じたため、5月16日に臨時会を開催し、市長から3件の議案が提出されました。

補正予算

一般会計補正予算(第2号)
【議案第3号】住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金支給事業、子育て世帯生活支援特別給付金支給事業、新型コロナウイルスワクチン接種事業および学校体育施設開放事業に係る経費の追加、ならびに小学校運営事業に係る経費の減額をしようとするもので、歳入歳出ともに12億9947万6千円を増額し、補正後の総額は685億2504万円となります。

6月定例会

6月定例会では、市長から14件の議案が提出されました。
主な議案の内容および議会における議決結果は次のとおりです。

工事請負契約の変更

【議案第6号】令和3年12月定例会において議決した史跡大町釈迦堂口遺跡崩落対策工事について、場内資機材運搬車両仮設モノレールのルート変更に伴い、契約金額を変更するもので、当初の契約金額2億724万円に、今回1174万9100円を増額し、変更後の契約金額を、消費税額および地方消費税額を含め、2億1898万9100円にしようとするものです。

指定管理者の指定

【議案第7号】鎌倉市生涯学習センター条例に定める鎌倉市生涯学習センターほか5施設の指定管理者として、鎌倉CIITYパートナーズ(代表団体、相鉄企業株式会社)を指定するものです。期間は令和4年10月1日から令和9年9月30日までの5年間です。

業務委託契約の締結

【議案第13号】鎌倉市立小・中学校冷暖房設備設置業務委託について、一般競争入札の結果、株式会社二十二設計と締結しようとするもので、消費税額および地方消費税額を含む契約金額は2億9770万円、契約期間は、仮契約の期間を含め、令和4年6月8日から令和5年3月31日までです。

和解について

【議案第14号】建物収去・建物退去土地明渡請求事件の一部被告らとの和解について
鎌倉市小町二丁目1番地7

条例関係議案

【議案第8号】鎌倉市下水道条例の一部を改正する条例の制定について
鎌倉市下水道事業運営審議会の答申に基づく下水道使用料の改定、ならびに特定都市河川浸水被害対策法等の一部を改正する法律の施行に伴う規定の整備等を行うおとするもので、令和5年4月1日から施行しようとするものです。

補正予算

一般会計補正予算(第3号)
【議案第10号】障害者雇用奨励金、フラ

公平委員会委員

公平委員会の委員の任期満了に伴い、市長から提案のあった次の方を選任することについて、議会では総員の賛成により同意しました。
小比賀 正義氏
(七里方浜東在住)
任期は、令和4年6月27日から4年間です。

教育委員会委員

教育委員会の委員の任期満了による後任者として、引き続き次の方を任命することについて、議会では総員の賛成により同意しました。
朝比奈 恵温氏
(山ノ内在住)
任期は、令和4年6月25日から4年間です。

全国市議会議長会表彰

5月25日に開催された全国市議会議長会第98回定期総会において、松中健治議員が議員在職45年以上の特別表彰を、中村聡一郎議員が正副議長在職4年以上の一般表彰を受けました。



感じ、手に取ってもらえるような議会だよりを目指します。
5月には「議会報告会」を開催し、市民の方の意見をお聞きしました。こちらについてもたくさんの方が気軽に参加でき、かつ充実した良いものになるよう検討を重ねていきます。
紙面のご要望やアイデア、質問等をお待ちしております。
議会広報委員
井上三華子

編集後記
例年になく早い猛暑と梅雨明けです。暑さが厳しくなっています。夏の熱中症予防に合わせた感染症対策と節電が昨今の課題になっています。
鎌倉市議会は任期2年目に入り、私が広報委員長の大役を担うことになりました。
現役世代や若者を含む、より多くの方が市政を身近に